

地域の活性化

地域のくらしを守る事業や、農と食を通じた地域に密着した交流をはかり、組合員・地域住民との結びつき・きずなの強化に取り組んでいます。

地域貢献・支店ふれあい活動

地域イベントへの参加やふれあい感謝の集いの開催など、地域住民とのふれあいに努めています。



食農教育の実施

アグリスクールや出前授業を開催し、子どもたちに農業体験や地域とのふれあいを通じて、農業や食の大切さを学んでもらいます。



移動販売車の運行

Aコープ鹿児島、経済連と連携して走る笑味ちゃん号を運行しています。管内55ヶ所を巡回して、生鮮食品や雑貨などを販売しています。



健康増進活動

厚生連と連携した巡回検診・人間ドックの実施や、グラウンドゴルフ大会の実施などにより、組合員・地域住民の健康増進活動に取り組んでいます。



JA鹿児島みらいの自己改革

〈平成30年度 重点取り組み〉

1 地域営農ビジョンの取り組み強化

2 収入拡大・コスト抑制対策

3 組合員の結集力強化対策

JA鹿児島みらいでは、第9次中期3か年計画を自己改革プランと位置づけ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けて、様々な取り組みを展開しておりますが、平成30年度は、自己改革の最終年度となることから、自己改革プランの一部見直しと重点化を図り、自己改革を加速しながら、組合員・地域住民に評価され、目に見える成果を実現すべく取り組みを進めてまいります。

これからも組合員の皆様の負託にお応えできるよう、一生懸命努力してまいります。さらなるご支援と叱咤激励を宜しくお願い致します。

JA鹿児島みらいの自己改革

当JAでは、国が進めるJA改革を踏まえながら、当JA独自の自己改革を実践しています。

自己改革の大きな柱である

「農業振興」、「地域活性化」について、平成29年度に実施した取り組みをご紹介します。

新しい夢 どんどん
育てよう明日を
JAグループ鹿児島



農業者の所得増大・農業生産の拡大

鹿児島市の地域特性を活かした農業振興、消費者への安心・安全な食の提供や地域食農活動などに取り組んでいます。

また、1円でも高く農畜産物を販売し、1円でも安く生産・出荷等にかかる経費を削減し、組合員・農業者の所得増大に取り組んでいます。

地域営農ビジョンの実践

農畜産物の販売単価や生産規模などの産地の将来目標を「地域営農ビジョン」として策定しています。5年後の数値目標と具体的な取り組み事項などを設定し、その確実な実践により、生産者の経営安定と鹿児島市の農業の維持・拡大をめざしています。



【対象品目】

- 軟弱野菜
- インショップ
- 果樹(桜島地区)
- 生産牛
- かぼちゃ



クールコート散布

(ビニールハウス太陽光遮光材)

太陽光によるハウス内の温度の上昇を効率よく和らげることができ、夏場の生育促進・増収が期待できます。また、収穫作業環境の改善がはかられています。



果樹農作業受託部会

桜島地区での労働力不足補完と果樹生産の拡大を目的として設立されました。ビニール被覆や除去、片付け作業など管理作業をサポートしています。



農業資材価格の引き下げ

低価格資材の取り扱いや推奨品目の設定、仕入先の見直しなどにより、農業資材価格の引き下げに取り組んでいます。



農業電子図書館の導入

病虫害診断と的確な農薬選択のため、購買店舗に導入しました。常に最新の情報を入手することができ、実際の病虫害の写真も見れるので、より正確な情報を提供できます。



地域密着型の農産物直売所

JA・系統直売所に出荷する生産者で組織されています。生産者の所得確保はもちろんのこと、当JA農畜産物のPRにもつながっています。

- フレッシュたにやま
- さんあい館
- ごしよらん など



営農塾「野菜のがっこう」

農業初心者を対象とした営農塾で、営農指導員による座学や共同圃場での実習により、土づくりや栽培方法などを学びます。



6次産業化・ブランド力向上への取り組み

管内で生産された農産物が元々持っている価値をさらに高め、生産者の所得を向上していくため、6次産業化に積極的に取り組んでいます。また、地域農産物のブランド力を高めるため、各認証制度の取得や大手企業とのタイアップも行っています。



桜島小みかんサイダー
「桜の雫」



ふれあいみそ汁
(フリーズドライ)



宝酒造 チューハイ
寶CRAFT
(桜島小みかん)

農産物認証制度の取得

K-GAP (かごしまの農林水産物認証制度) の取得/軟弱野菜、桜島小みかん
GI (地理的表示制度・農林水産省) の取得/桜島小みかん